

式 辞

明けましておめでとうございます。

新しい年、令和2年、2020年が始まりました。

2020年の干支は庚子（かのえね）です。10ある十干と12ある十二支の最小公倍数60個ある干支の37番目です。

干（え）にあたる「庚」（かのえ）は十干（じっかん）の7番目です。日本語では「金の兄」と書き「かのえ」と読みます。音読み「庚」（こう）と同音の「更」（こう）と繋がり、「あらためる」という意味があるようです。

支（と）にあたる「子」（ね）は十二支（じゅうにし）の一番目です。

十二支は植物の循環の様子を表していて、子（ね）は「孳」（うむ）という字からきているという説があり、種子の中に新しい生命がきざし始める状態を指すようです。

十二支にねずみ、うし、などの動物の読み方を当てはめたのは、十二支を庶民が覚えやすいようにするためで、後のことです。

「ねずみどし」に因んで、ミッキーマウスの生みの親ウォルト・ディズニーの言葉を紹介しましょう。知っている人も多いと思います。

The special secret of making dreams come true
can be summarized in four C's.

They are Curiosity, Confidence, Courage,
and Constancy.

「夢を実現するための秘訣は、4つのC、すなわち Curiosity（好奇心）、Confidence（自信）、Courage（勇気）そして Constancy（継続）だ」という意味です。

きて、「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」、さらに「一生の計は少壮の時にあり」と言います。計は計画の計です。少壮は若くて元気という意味です。

一生にとっては若い時に思い描いたことつまり計画したことが、一年にとっては新年に思い描いたことが、そして日々毎日は朝、心に思い描いたことが大切だという意味になるでしょう。

「あらためる」「新しい生命のきざし」といった意味がある「庚子」の2020年、夢を実現するためにもう一つCを加えて 日々 Challenge する1年にしましょう。